

**今日のトピック BOEの金融政策（2016年7月）
据え置き。8月の金融緩和を強く示唆**

ポイント1 7月は据え置き

- イングランド銀行（BOE、イギリスの中央銀行）は、14日の金融政策委員会で、政策金利を現行の年0.5%で据え置き、資産購入額も3,750億ポンド（約53兆円）を維持することを決定しました。

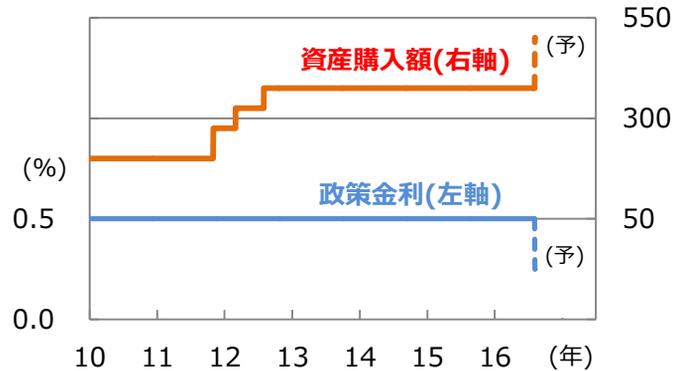
ポイント2 8月の金融緩和を強く示唆

- 声明文は、8月4日の次回金融政策委員会で金融緩和が発表される可能性を強く示唆する内容でした。その規模と内容は8月のインフレレポートに基づいて決まる、としています。
- 8月の金融政策委員会では、金融システムへの影響を考慮して利下げ幅を0.25%で打ち止めにし、量的緩和の拡大策にシフトすると考えられます。量的緩和策は国債の購入に加え、社債の購入を開始する可能性があります。規模は現行の3,750億ポンドから5,000～7,500億ポンド程度へ増額されると考えられます。

今後の展開 基調はポンド安か

- 英国の長期金利は、景気の減速懸念とBOEの金融緩和に対する期待から大きく低下しましたが、これからは実際の景気悪化度合いやさらなる緩和期待の高まりなどから、低下圧力が続くと予想されます。ポンドも、金融緩和期待の持続から、基調としてポンド安が続くと考えられます。

【政策金利と資産購入額】（10億ポンド）



(注) データ期間は2010年1月2日～2016年7月14日。
(予)は2016年8月4日。政策金利は0.25%へ低下、資産購入額は5,000億ポンドに拡大すると予想。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注) データ期間は2006年1月2日～2016年7月14日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ここもチェック! 2016年6月28日 最近の欧州株式市場（2016年6月）
2016年6月24日 英国の国民投票 国民投票は「Brexit」**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。